

感染制御部／感染管理認定看護師

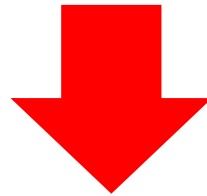


感染対策の考え方

Reactive

何かが起こってから対処する

ではなく



Proactive

何かが起こる前に対処する



院内感染対策の体制

薬剤師

検査技師



検査情報



薬剤情報



地域連携



臨床情報



感染制御部 (ICT)

医師



感染症診療
抗菌薬の適正使用



感染管理認定看護師
把握した情報をもとに
対策を指導

感染制御部の業務内容

- ★感染症診療・感染症コンサルテーション
- ★院内感染対策遵守のための指導・監視
- ★抗菌薬適正使用支援チーム（AST）
- ★サーベイランス
- ★職業感染防止
- ★職員啓発活動
- ★感染アウトブレイク（集団発生）の把握と対策
- ★感染対策マニュアルの作成および周知
- ★患者への情報提供と説明
- ★感染性廃棄物処理



感染管理認定看護師の業務内容

★感染防止技術

院内感染対策・COVID-19マニュアルの改訂
感染症や医療関連感染の予防・対応

★サーベイランス

手指衛生遵守率・アルコール製剤使用量
中心静脈カテーテル関連血流感染、耐性菌など

★職業感染防止

結核発生時の曝露者検診、血液・体液粘膜曝露防止、ワクチン接種など

★教育

感染管理に関する教育活動、院内ニュースによる注意喚起など

★相談

院内外よりの感染管理に関する相談など

★ファシリティ・マネジメント

洗浄・消毒・滅菌、廃棄物の適切な分類など



巡回（ラウンド）

- ・テーマ別毎週ラウンド
- ・環境ラウンド
- ・清掃ラウンド
- ・耐性菌ラウンド
- ・手指衛生モニタリング

【手指衛生遵守状況の確認】

手指衛生が適切なタイミングで実施できているか、医師・看護師・薬剤師・検査技師が実際に現場へ出向き確認しています



薬剤師



職業感染防止

【針刺し・粘膜曝露対応と曝露予防の推進】

ICT | ICTニュース 発行日：2020.8 発行：感染制御部 ICT

検体管理・个人防护具ラウンド報告

7月は、検査検体容器の保管状況と、个人防护具についてラウンドを実施しました。

検体管理・个人防护具等適正使用に関する指摘された部署数

指摘事項	指摘された部署数
未使用の検体容器の使用期限が切れていない	1
検体保冷庫に不要な物が置かれていない	0
手袋のまま、PC入力や次の行為・業務を行っている	10
穴の空いた靴を履いている職員がいない	15

検体容器は、ほとんどの部署できちんと管理されていました！素晴らしいです！！

穴の空いた靴を履いている職種

職種	割合
医師	57%
看護師	23%
看護補助者	10%
薬剤師	4%
ME	3%
職種不明	3%

こんなところを見かけたら、「手袋外して手指衛生ですね！」と声をかけましょう(^^)

ご注意ください

クロックス（穴の開いている靴）は危険！！

クロックスの穴に針が刺さる事例が発生しています。自分を守るのは自分だけです。**靴は足全体を覆う物を着用しましょう。**

ICT | ICTニュース 発行日：2020.9.8 発行：感染制御部 ICT

ユニフォームのポケットに入っていた針で洗濯業者が針刺し！！

針・鋭利器材は、使用後すぐに針捨て容器に廃棄！

ポケットに鋭利物を入れない！

ユニフォームを洗濯に出す前にポケットの確認を！

危険！！

INFECTION CONTROL 27巻4月号
ダウンロードサービス専用ページ：http://www.medica.co.jp/m/infectioncontrol/ii
—e_library/60008142

COVID-19対応①

～患者さん・職員を新型コロナウイルスから守るために～

【院内ニュースによる注意喚起】

COVID-19 緊急事態

入院(数日)後に
患者のリスクのある行動歴の判明が頻発!!

例:手術や化学療法など、治療前に家族旅行
入院前に麻雀クラブや、バーベキュー



主治医・関係者の方は、
・入院決定時に自粛生活を具体的に説明し、
理解度を確認
・入院時に自粛が守られていたかを確認

以上の徹底をお願いします。

感染者・濃厚接触者多発警報
×マスクなし会話 ×アイシールドなし対応

COVID-19感染者と その濃厚接触者が急増しています
・ マスクは相手・自分の双方着用によって効果がある
・ アクリル板パーテーションだけでは対策にならない
・ 必ず、眼も防護して患者対応を
今が頑張りどき!

注意



患者さんが無防備です
職員が感染していた場合、
マスクなしの患者さんは
濃厚接触者になります
マスクをしてもらいましょう



どちらか一方が着用していても
アクリル板があっても
マスクなしの会話はいけません



メガネでは防護できません
患者対応にアイシールドは必須

黙食

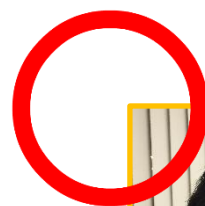
挨拶は目礼・会釈で



COVID-19対応②

～患者さん・職員を新型コロナウイルスから守るために～

【防護用具着脱の指導と確認】



COVID-19対応③

～患者さん・職員を新型コロナウイルスから守るために～

【地域の高齢者施設への指導】

院内の発生が落ち着いているときには、地域の施設に出向いて指導を行っています。

